



アクセス ポイント グループの設定

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [AP グループを設定するための前提条件, 1 ページ](#)
- [アクセス ポイント グループの設定に関する制約事項, 2 ページ](#)
- [アクセス ポイント グループについて, 2 ページ](#)
- [アクセス ポイント グループの設定方法, 5 ページ](#)
- [その他の関連資料, 7 ページ](#)
- [アクセス ポイント グループの機能履歴と情報, 8 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このマニュアルの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

AP グループを設定するための前提条件

次に、スイッチでアクセス ポイント グループを作成するための前提条件を示します。

- VLAN またはサブネットにサービスを提供するルータ上で、必要なアクセス コントロール リスト (ACL) を定義する必要があります。

- アクセス ポイント グループ VLAN では、マルチキャスト トラフィックがサポートされません。ただし、クライアントがあるアクセス ポイントから別のアクセス ポイントにローミングする場合、IGMP スヌーピングが有効になっていないと、クライアントによってマルチキャスト トラフィックの受信が停止されることがあります。

関連トピック

[アクセス ポイント グループについて, \(2 ページ\)](#)

[アクセス ポイント グループ の設定に関する制約事項, \(2 ページ\)](#)

アクセス ポイント グループ の設定に関する制約事項

- AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングが、WLAN インターフェイスと同じであるとします。WLAN インターフェイスが変更されると、AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングも新しい WLAN インターフェイスに変わります。

AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングが、WLAN に定義されたインターフェイスと異なるとします。WLAN インターフェイスが変更されても、AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングは新しい WLAN インターフェイスに変わりません。

- スイッチ上の設定をクリアすると、アクセス ポイント グループのすべてが非表示となります。ただし、デフォルトのアクセス ポイント グループである「default-group」（自動的に作成される）は例外です。
- デフォルトのアクセス ポイント グループには、最大 16 の WLAN を関連付けることができます。デフォルトのアクセス ポイント グループの WLAN ID は、16 以下である必要があります。大規模なデフォルトのアクセス ポイント グループ内で ID が 16 以上の WLAN が作成されると、WLAN SSID はブロードキャストされません。デフォルトのアクセス ポイント グループのすべての WLAN ID で ID が 16 以下であることが必要です。16 を超える ID を含む WLAN は、カスタム アクセス ポイント グループに割り当てることができます。

関連トピック

[アクセス ポイント グループについて, \(2 ページ\)](#)

[AP グループを設定するための前提条件, \(1 ページ\)](#)

アクセス ポイント グループ について

スイッチ上に最大 512 の WLAN を作成した後では、さまざまなアクセス ポイントに WLAN を選択的に公開（アクセス ポイント グループを使用して）することで、ワイヤレス ネットワークをより適切に管理できます。一般的な展開では、WLAN 上のすべてのユーザはスイッチ上の 1 つのインターフェイスにマップされます。したがって、WLAN に関連付けられているすべてのユーザは、同じサブネットまたは VLAN に存在します。しかし、複数のインターフェイス間で負荷を分

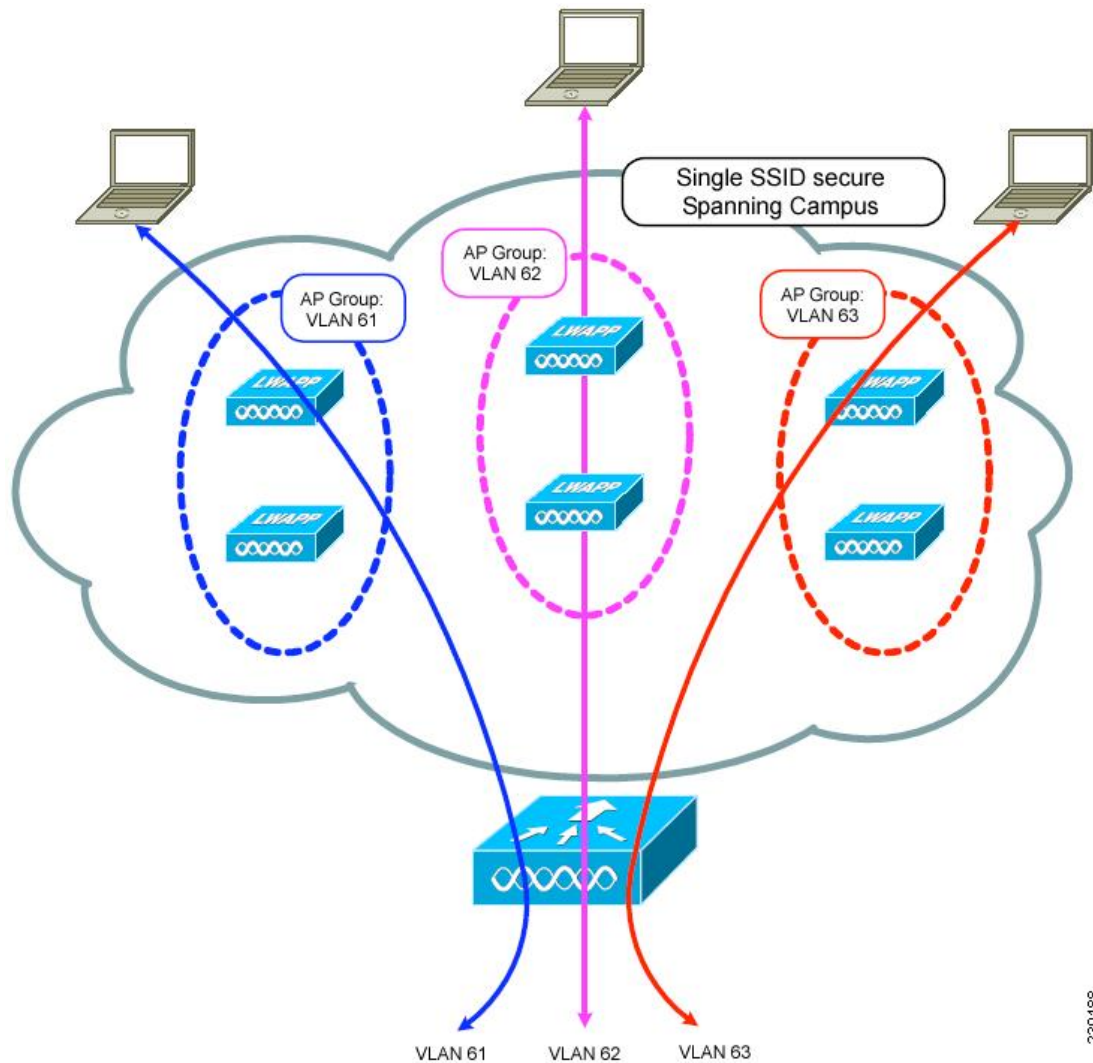
散すること、またはアクセスポイントグループを作成して、個々の部門（たとえばマーケティング部門）などの特定の条件に基づくグループユーザへと負荷を分配することを選択できます。さらに、ネットワーク管理を簡素化するために、これらのアクセスポイントグループを別個のVLANで設定できます。

図では、3つの設定された動的インターフェイスが、3つの異なるVLAN（VLAN 61、VLAN 62、およびVLAN 63）にマップされています。3つのアクセスポイントグループが定義されており、各グループは異なるVLANのメンバですが、すべてのグループが同じSSIDのメンバとなっています。無線SSID内のクライアントには、そのアクセスポイントがメンバとなっているVLANサブネットからIPアドレスが割り当てられています。たとえば、アクセスポイントグループVLAN 61のメンバであるアクセスポイントにアソシエートする任意のユーザには、そのサブネットからIPアドレスが割り当てられます。

図では、スイッチは内部的にレイヤ3ローミングイベントとしてアクセスポイント間のローミングを扱っています。こうすることで、WLANクライアントは元のIPアドレスを保持します。

すべてのアクセスポイントがスイッチにjoinされた後は、アクセスポイントグループを作成して、最大16のWLANを各グループに割り当てることができます。各アクセスポイントは、有効化されているWLANのうち、そのアクセスポイントグループに属するWLANだけをアドバタイズします。アクセスポイントグループで無効化されているWLANまたは別のグループに属するWLANはアドバタイズしません。

図 1: アクセス ポイントグループ



230188

関連トピック

- [アクセス ポイントグループの作成, \(5 ページ\)](#)
- [アクセス ポイントグループの表示, \(7 ページ\)](#)
- [AP グループへのアクセス ポイントの割り当て, \(6 ページ\)](#)
- [AP グループを設定するための前提条件, \(1 ページ\)](#)
- [アクセス ポイントグループの設定に関する制約事項, \(2 ページ\)](#)

アクセスポイントグループの設定方法

アクセスポイントグループの作成

はじめる前に

この操作を実行するには、管理者特権が必要です。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **ap group** *ap-group-name*
3. **wlan** *wlan-name*
4. (任意) **vlan** *vlan-name*
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	ap group <i>ap-group-name</i> 例： Switch(config)# ap group my-ap-group	アクセスポイントグループを作成します。
ステップ 3	wlan <i>wlan-name</i> 例： Switch(config-apgroup)# wlan wlan-name	WLANにAPグループを関連付けます。
ステップ 4	vlan <i>vlan-name</i> 例： Switch(config-apgroup)# vlan test-vlan	(任意) VLANにアクセスポイントグループを割り当てます。
ステップ 5	end 例： Switch(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。また、 Ctrl+Z キーを押しても、グローバルコンフィギュレーションモードを終了できます。

次に、AP グループを作成する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Switch(config-apgroup)# ap group test-ap-group-16
Switch(config-wlan-apgroup)# wlan test-ap-group-16
Switch(config-wlan-apgroup)# vlan VLAN1300
```

関連トピック

[アクセス ポイントグループについて, \(2 ページ\)](#)

AP グループへのアクセス ポイントの割り当て

はじめる前に

この操作を実行するには、管理者特権が必要です。

手順の概要

1. **ap name** *ap-name* **ap-group-name** *ap-group*

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ap name <i>ap-name</i> ap-group-name <i>ap-group</i> 例: Switch# ap name 1240-101 ap-groupname apgroup_16	アクセス ポイントグループにアクセス ポイントを割り当てます。次のキーワードと引数があります。 <ul style="list-style-type: none"> • name : このキーワードに続く引数がスイッチに関連付けられている AP の名前であることを指定します。 • ap-name : AP グループに関連付ける AP です。 • ap-group-name : このキーワードに続く引数が設定されてスイッチにある AP グループの名前を指定します。 • ap-group : スイッチで設定するアクセス ポイントグループの名前です。

関連トピック

[アクセス ポイントグループについて, \(2 ページ\)](#)

アクセス ポイント グループの表示

はじめる前に

この操作を実行するには、管理者特権が必要です。

手順の概要

1. show ap groups [extended]

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show ap groups [extended] 例： Switch# show ap groups	スイッチで設定された AP グループを表示します。 extended キーワードは、システムで詳細に定義されているすべての AP グループ情報を表示します。

関連トピック

[アクセス ポイント グループについて, \(2 ページ\)](#)

その他の関連資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
WLAN コマンド	<i>WLAN Command Reference, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 スイッチ)</i>
Lightweight アクセス ポイント コンフィギュレーション	<i>Lightweight Access Point Configuration Guide, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 スイッチ)</i>
Lightweight アクセス ポイント コマンド	<i>Lightweight Access Point Command Reference, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 スイッチ)</i>

エラー メッセージ デコーダ

説明	Link
このリリースのシステム エラー メッセージを調査し解決するために、エラー メッセージ デコーダ ツールを使用します。	https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Errordecoder/index.cgi

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

テクニカル サポート

説明	Link
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	http://www.cisco.com/support

アクセス ポイント グループの機能履歴と情報

次の表で、このモジュールで説明した機能をリストし、特定の設定情報へのリンクを示します。

機能名	リリース	機能情報
AP グループ数	Cisco IOS XE 3.2SE	この機能が導入されました。

